社会医療法人社団 埼玉巨樹の会　明生リハビリテーション病院 季刊誌

スマイル

Smile with your heart

2025 Vol. 55

餅つきより

新年会より

春祭りより

福笑い

Contents

P2　餅つき／新年会／春祭り／福笑い
P3　学術大会／栄養科特別食
P4　むすびプロジェクト
　　ホームページのご案内

社会医療法人社団 埼玉巨樹の会
明生リハビリテーション病院

餅つき

新久喜総合病院での餅つき、眠い目をこすりながらいつもより早起きして空はまだ真っ暗ななか家を出た。世間はクリスマスだが平日の早朝だったこともあり浮足立った様子もない。その日は天気にも恵まれ現地はさながら新年のような活気に溢れていた。柳田院長をはじめ多くの方が真剣な眼差しで餅をつく姿はとても晴々した気持ちの良いものでした。また、できたてのお餅を食べている参加者の姿は微笑ましかった。日頃の業務とは違った良い経験をした１日となった。

総務課　C・T

新年会

令和７年１月15日　川越プリンスホテルにて明生リハビリテーション病院の新年会を開催いたしました。余興の参加者に有志４組が参加いただき、それぞれ特色の違う内容で会場の空気を一気に盛り上げてくれました。その後、大抽選会、蒲池健一先生によるじゃんけん大会が行われ大変盛り上がりました。壇上での商品等の受け取りの際のみなさんの笑顔はとても素敵でした。この楽しい時間を忘れず、各自仕事に活かしてくれるを期待できる会となりました。

総務課　O・M

春祭り

２月13日に『春祭り』を行いました。患者様には射的、輪投げ、鬼の口にボールを投げ入れる鬼退治ゲームの３つのゲームに参加して頂きました。

看護師とリハビリスタッフによる演奏会も開催されました。「北国の春」や「高校三年生」などの曲を演奏し、手拍子で会場が一体となりました。中には涙を流される方もいらっしゃいました。

同じことの繰り返しになりがちな入院生活に、季節感や新鮮な空気感を取り入れることができました。

リハ科　O・Y

福笑い

３月の行事として､「福笑い」を行いました。病棟スタッフとリハビリスタッフが協力し、個性豊かな顔のパーツや輪郭の台紙を手作り。リハビリの一環として、楽しみながら手指の訓練や空間認識能力の向上を目的に取り組みました。

「どれを貼ろうかしら」「ここじゃない？」「面白い顔になったね！」など、患者様同士で会話を弾ませながら、和気あいあいとした雰囲気の中、多種多様なパーツを前に、皆様思い思いのユーモラスな顔を作り上げ、笑顔と笑い声があふれるひとときとなりました。

完成した福笑いは、どれも個性豊かでユーモラスな表情が多く皆様の笑顔と創造性に、私たちスタッフもたくさんの元気をいただきました。

リハ科　S･S

学術大会

銀賞 受賞

令和７年２月22日、『第22回関東KG学術大会』に参加してきました。今回のテーマは～生活期の患者支援について～でした。

私が以前担当した患者様で復職支援のために職場訪問を実施した事例について発表をし、結果として銀賞をいただくことができました。学術委員をはじめ多くのスタッフからのアドバイスやサポートに感謝するとともに、今回経験し学んだことを今後は私自身が次回以降に発表担当になったスタッフへ還元していきたいと強く感じました。

リハ科　O･K

行事食

1月

テーマ：お正月御膳

献立
- 赤飯　・すまし汁
- おせち盛り合わせ
  （伊達巻、若鳥の２食巻き、栗きんとん、黒豆）
- なます　・抹茶ババロア

年末年始は行事食として 12 月 31 日には年越しそば、１月１日には赤飯、お節料理を提供いたしました。
今年も患者様に喜んでいただけるような旬の食材を使った行事食や新しいメニューを取り入れていこうと思っています。

2月

テーマ：節分御膳

献立
- 炊き込みご飯
- けんちん汁
- いわしの梅煮
- 白菜の浅漬け
- 甘納豆

今月の行事食は節分メニューです。
少しでも節分を味わっていただきたく節分にちなんだ、いわし、甘納豆等を提供いたしました。
いわしは骨の多い魚ですが今回は骨抜きの食べやすい魚を使用し梅干しと一緒に甘辛く煮つけました。
甘納豆は固い大豆が食べられない患者様にも好評でした。
今後も、お食事の時間を楽しんで頂けるような献立を提供していきたいと思います。

3月

テーマ：ひな祭り御膳

献立
- ちらし寿司
- すまし汁
- 筍とふきの土佐煮
- いちごゼリー

今月の行事食は桃の節句にちなんでちらし寿司と春の食材を使った筍とふきの土佐煮、いちごゼリーを提供しました。
見た目も華やかで春を感じていただけるメニューとなりました。

むすび プロジェクト

飛ぼうよ！むすびプロジェクト

「むすびプロジェクト」は当グループのリハビリ病院を退院された患者様が、
その人らしく生きいきと生活していただけるよう、支援するための取り組みです。
今回はその取り組みのひとつをご紹介いたします。

第3回 むすびプロジェクト研修会「その人らしさを支えるチームアプローチ」開催

令和6年8月2日、第3回むすびプロジェクト研修会が開催されました。カマチグループリハビリテーション関東統括本部長である稲川利光先生と、小金井リハビリテーション病院の作業療法士である村上直也さんが講師を務め、リハビリテーション科631名、看護師130名、事務部75名、連携室44名、ケアワーカー29名、薬剤科18名、栄養科16名、総数943名のグループ病院職員が参加し、チームアプローチに関する知識を深めました。

今回は入職1～3年目の職員を対象に開催しました。退院後に患者様が自分らしく生活できることを見据え、多職種が連携し専門性を活かした支援を提供する必要があると学びました。研修会で得た知識を活かし、退院支援の質の向上に取り組んでまいります。

▲ たくさんの方にご参加いただきました。

▲ 稲川利光先生と村上直也さん

ホームページのご案内

病院の詳しい内容は、ホームページでご覧いただけます。ぜひご参照くださいませ。
グループ病院ホームページにもリンクできます。

明生リハビリテーション病院　検索

https://meisei-reha.jp/

FB https://www.facebook.com/meiseireha/

インスタ https://www.instagram.com/meiseireha/

社会医療法人社団 埼玉巨樹の会

明生リハビリテーション病院

■[西武池袋線] 狭山ヶ丘駅東口下車
徒歩 15 分

■車でお越しの際は、時間に余裕をもって
ご来院ください

◎ お問い合わせ

〒359-1106
埼玉県所沢市東狭山ヶ丘 4-2681-2
TEL 04-2929-2220
FAX 04-2939-2136

理念
手には技術
頭には知識
患者様には愛を

基本方針

❶高度医療
学問的に、技術的に高い水準の医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。

❷総合医療
患者様と医療情報を共有し、急性期治療から早期リハビリ、在宅医療まで一貫した、患者様のニーズに沿った安全で安心できるチーム医療を提供します。

❸地域医療
地域の医療・福祉施設と密接な連携を図り、いつでも誰でも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域医療の中核病院を目指します。